

鵜野から平和を 「sora かさい」オープン

鵜野飛行場跡に歴史展示、物販飲食、交流、観光案内の4つの機能を持った地域活性化拠点施設「sora かさい」が完成。4月13日に竣工式が行われ18日には一般向けの公開が始まりました。戦後76年余りが過ぎ、先の戦争体験者が高齢化される中、鵜野で起こった史実を正しく後世に伝えていくことで、平和の尊さを発信していきます。

sora かさいは、実物大戦闘機模型「紫電改」と「九七式艦上攻撃機（以下…九七艦攻）」の2機をはじめ、鵜野飛行場建設から終戦までの歴史をテーマ別に分けたブースや映像で紹介するコーナー、当時の兵士の装備品など36点を展示しています。また、周辺には防空壕や機銃座跡など戦時中の名残をとどめる戦争遺跡が数多く点在しており、フィールドミュージアム、周遊の拠点として平和について学ぶことができる施設です。

九七艦攻新たに展示

4月18日、オープンした加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」で、九七艦

攻の実物大模型が一般公開されました。機体サイズは、全長10・3m・全幅15・5m、重さは約1トンとかなり大型であり、高さ12mの所にワイヤーで吊るしてあります。太平洋戦争の渦中に、パイロット不足になり、急遽鵜野でパイロットの養成に使用されたのが九七艦攻でした。そして、1945年3月23日、姫路海軍航空隊で編成された特攻隊「白鷺隊（はくろたい）」21機が九七艦攻で大分県の宇佐飛行場に飛び立ち、その後沖縄近海に出撃し63人が帰らぬ人となりました。この展示はこうした歴史に因んでいます。

太平洋戦争末期、滑走路の南西にあった川西航空機姫路製作所鵜野工場で組み立てられた戦闘機・紫電改と一緒に展示される

ことになりました。

館内は2つのゾーン

「技術」と「歴史」の2つのゾーンに分かれて資料や解説とともに展示されています。

「技術ゾーン」では、紫電改、九七艦攻のほかに、紫電改操縦席実物大模型、小型飛行機模型、紫電、紫電改の整備に使用された整備台が展示してあります。また、パネルや映像で、飛行機の構造等の解説をしています。

続いて「歴史ゾーン」。ここでは5つのテーマ（物語・記憶・生命・飛翔・継承）に分けて紹介しています。また、姫路海軍航空隊の開隊から終戦までの、約2年間のトピックを時間軸に沿って壁面にストーリー映像としても紹介しています。

2階は、観覧ウオークとなっており、館内を一望することができ、吊るされた九七艦攻を間近に見ることができます。

ショップやカフェも

館内西側のショップでは、加西市特産品をはじめ、旧海軍飛行場ゆかりの地として空がつなぐ4市（姫路市、加西市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市）の特産品も販売。

また、お菓子や帽子、Tシャツなど鵜野をイメージしたオリジナルグッズなどお土産品も充実しています。

加西産の野菜を使ったsora バーガーやカレー、鵜野をイメージしたドリンクなど美味しい軽食を提供するカフェコーナーもあります。座って食べれる飲食スペースもあり、コンパクトながらほっとする空間で観覧後のひと時を過ごしてください。



紫電改実物大模型の上に、新しく九七式艦上攻撃機実物大模型が飛んでいるように展示しています。

KASAI UZURANO
sora かさい
scenery opportunity region activity

sora かさい HP

☎ 0790・49・8100

📍 加西市鵜野町 2274-11

🕒 9:00 ~ 18:00

📅 第2・4月曜日、12/29 ~ 1/3
(月曜が祝日の場合は翌平日休み)

🎫 入館無料

※当面の間は事前予約制